

## 平井精密の地下水汚染問題で現地調査報告

電子部品工場（株）平井精密で発生した地下水汚染について新聞報道されましたが、この問題をきっかけに大垣市の地下水汚染について取り上げてみました。大垣市は「水の都」と言われ地下水の豊かな町であるとともに、その水をもとに工場誘致をおこなった工業都市でもあります。水の恩恵を受けている町だけに地下水汚染に対しては厳しく見守って行くことが大切です。去る7月15日、高木光弘副委員長（岐阜2区予定候補）といっしょに横曽根の工場を訪れ、今回の事故について経過と今後の対策について聞きました。 市議会議員 笹田トヨ子

以下の内容は平井精密の担当者から聞き取り調査を行ったものです。

### 1. 地下水汚染の経過

①5月28日の詳細な自社点検をおこなったところ廃液ピットの亀裂が見つかり、6月6日公害防止協定により大垣市に届出し、6月10日に岐阜県に事故報告を行った。

②県の指導で地下水の行政検査をおこなったところ、工場内の検査井戸（深さ約2m）9本のうち3本で、環境基準を上回る有害物質が検出されたため（資料）、6月24日公表に至った。

③その後の対応策として、6月24日に工場周辺（半径500m以内の52の井戸と下流域9の井戸）の井戸水検査をおこなったところ、鉛、ふっ素およびトリクロロエチレンは、すべて環境基準に適合していた。また、健康相談を行ったが相談件数はなかった。

④6月27日、7月10日に周辺住民や横曽根自治会に対し住民説明会を行った。

### 2. 地下水汚染の原因と今後の対策について

①廃液ピットの亀裂について・・・年2回の定期点検では目視で行っていたが、今回は廃液ピットに10000ℓの水を張り2日間放置し水位が7cm減ったことで明らかになった。4年前のメンテナンスのときは異常がなかつ

たが、それ以後いつ亀裂が生じたかわからない状態である。②廃液ピットの亀裂の原因は地盤沈下によりピットが歪みひび割れになったと思われるため今後も有りうるとのこと。そのため、施設を地上化することを考えている。特に有害物質のピットのついては年内に行うよう対処する。

③汚染した地下水・地下土壌については県の指導に従い除去計画を立てる。

④半年毎に、周辺地域の飲用井戸水のチェックを定時定点で行う。

### 大垣市の公害防止事業について

水質汚濁や大気汚染は県の管轄であるため、大垣市は独自に44の事業所と公害防止協定を結んでいます。水質

汚濁の協定対象事業所は日排水量400㎥以上の工場や事業所で、その他にメッキ工場はチェックをいれているとのことでした。今回の（株）平井精密も公害防止協定を結んでおり、協定書第5条にそって大垣市に報告されました。第5条（事故時の措置）で「公害の発生のおそれが生じ、または公害が発生した」ときは報告しなければならないとされています。

しかし、工場内に事故の被害がとどまるときは、「通報の必要がない」とも解釈され、十分情報が公開されない場合もあり、工場内の実態を把握する点で限界があります。

### 住民との公害防止協定の動き

市との公害防止協定を締結している企業の中には、周辺地域の住民と公害防止協定を結んでいるところもあります。この協定が生きるかどうかは住民の日ごとの環境意識がものをいうと思います。ちょっとした疑問や気になることについては率直に出し合い、常に緊張関係の中でお互いに地域の環境を守っていくことが大切ではないでしょうか。（株）平井精密では地域住民との公害防止協定の話も持ち上がっていると聞きますが、実効あるものを期待したいものです。

資料	区分	場内浅井戸（深度約2m）		地下水環境基準
		検査結果	基準超過井戸の状況	
鉛	不検出～0.03mg/ℓ	超過井戸/検査井戸 3本/9本	環境基準の3倍	0.01mg/ℓ以下
ふっ素	0.1～1.1mg/ℓ	1本/9本	環境基準の1.4倍	0.8mg/ℓ以下
ほう素	0.02～0.53mg/ℓ	0本/9本	環境基準にすべて適合	1mg/ℓ以下
シアン	不検出	0本/9本	環境基準にすべて適合	検出されないこと
トリクロロエチレン	不検出～0.055mg/ℓ	1本/9本	環境基準の1.8倍	0.03mg/ℓ以下